



第14号

全国プレジャーボート安全会 会報誌

# プレジャーボート倶楽部通信

## CONTENTS

- 1 プレジャーボートの係留風景
- 2 プレジャーボート体験
- 3 プレジャーボート総合保険ワイド・船体保険の必要性について
- 4 クローズアップ「相手を救い自身を守る小型ボートオーナーの心強い味方」



### プレジャーボートの係留風景 <写真：鹿児島本港一本釣組合 係留施設>

鹿児島本港は、鹿児島港の一番北側、桜島が目の前に迫る錦江湾内に位置しています。鹿児島本港にある「鹿児島本港一本釣組合」が管理する係留施設には、漁船約60隻、プレジャーボート約100隻が係留されており、同組合では、マダイの稚魚放流、本港区周辺の大掃除等、様々な活動を通じて、錦江湾の資源と環境を守っていくことを基本指標としています。

風光明媚なこの係留施設は常に満隻状態で、現在は多数の空隻待ちを抱える人気の施設となっています。



## プレジャーボート体験

会員の方々から投稿いただいた「プレジャーボート体験」をご紹介しますコーナーです。今回は焼津ボートクラブ様からご寄稿いただきました。

### 世界遺産「富士山」を目の前にした釣りフィールド

私たちが所属する焼津ボートクラブ（通称 Y. B. C.）の母港は焼津港内の小川地区にあり、近海・沿岸の魚を主体とする漁港です。日本一の深さ（約 2,500m）の駿河湾の西に位置し、正面には伊豆半島、北東には富士山を麓から望める景色、周辺に点在する大小の漁礁など最高のフィールドに恵まれています。



### 若者でもボート保有ができるクラブ

クラブは 1983 年設立後 38 年を迎え、心から海を愛し、ボートで釣りを楽しむ仲間の集まりですが、リーズナブルな会費でマイボートの保有ができ、年間を通じ 24 時間いつでも出航可能なことから、若者から年配者まで幅広い年代の人が加入しています。

現在、会員は 62 名。焼津、藤枝、静岡市を中心に、遠くは神奈川県にお住まいの方もいますが、会員相互の親睦を深めつつ安全確保を第一に活動を行っています。

ボートの管理は陸上保管を主体とし（一部自宅から車検付トレーラー運搬、港内係留保管）1 艇でも多く駐艇できるよう効率よく配置しています。その土地は東海造船運輸(株)様、焼津漁業協同組合様及び小川漁業協同組合様から借用させていただいており、年間を通じ清掃、草刈りなど環境維持に努めています。

また、港湾・船舶、釣り具・餌を始めとする地域の関係企業・商店の皆様とも交流を図っています。

### 年間を通じた活動

3 月に観光バス 1 台貸し切りで会員・家族等の親睦を兼ねた旅行を実施し、横浜で開催するボートショー（現在コロナ禍で中止）を見学しています。

また、初夏には、地元の企業様、全国の釣り具企業様から協賛をいただき、釣り大会を開催します。対象はシロギス 10 匹の重量。豪華賞品で会員、家族、釣り仲間の皆さんが参加し、釣果は地域福祉施設へ寄贈させていただき喜ばれてます。その模様はマスコミにも取り上げられています。

9 月に真鯛の放流も実施しています。静岡県立焼津水産高等学校の生徒さんが卵から育てた 10cm 程の稚魚を餌やり体験をした市内小学校生徒の皆さんと一緒に、沖の漁礁で放流しています。

### 市、観光協会、教育委員会の活動に協力

春開催の焼津みなとマラソン、夏休みに入り焼津市立中学校ボートレース大会（3 日間）、お盆の焼津海上花火大会など行事中における落水者救助活動に海上警備として毎年参加しています。海上花火大会のプログラムにも協賛「焼津ボートクラブ」を載せていただいています。

### 安全への取り組み

高齢者の会員も多く、事故を起こさないためにライフジャケットの着用など機会を捉え注意喚起を行っており、過去には清水海上保安署の救命講習、日本小型船舶検査機構による法令講習など開催してきました。今年はコロナ禍で取り組みができませんでしたが、今後も計画的に実施していきます。

長年クラブ運営を続けていく中、様々な事故・故障等が発生してきました。深夜駐艇場から船外機をまとめて盗難されたこと、他船との衝突、沖での機関故障、バッテリー上がりなど対応策を講じると共に会員相互で共助していますが、万が一の事故への対応として日本漁船保険組合様の P B 責任保険等に全員加入することをクラブ加入の条件としています。

今後においても、素晴らしい釣りフィールドの中、健康で、楽しく釣りを楽しめるよう無理をせず、安全第一をモットーに活動していきたいと思っています。

ぜひ焼津ボートクラブ H P にもお越しください <http://web/thn/jp/ybc>

焼津ボートクラブ



焼津ボートクラブ会長 杉崎 一夫



## プレジャーボート総合保険ワイド・船体保険の必要性について

東京海上日動火災保険株式会社  
船舶営業部 営業第三課

### ■プレジャーボート総合保険の成り立ち

プレジャーボート総合保険は、プレジャーボートオーナー様の様々なニーズに応えるため、平成12年に漁船保険中央会（当時）と弊社がタイアップをして生まれた総合保険制度です。おかげさまで、制度発足から20年が経過いたしました。会員の皆様には、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

### ■船舶事故（アクシデント）の特徴

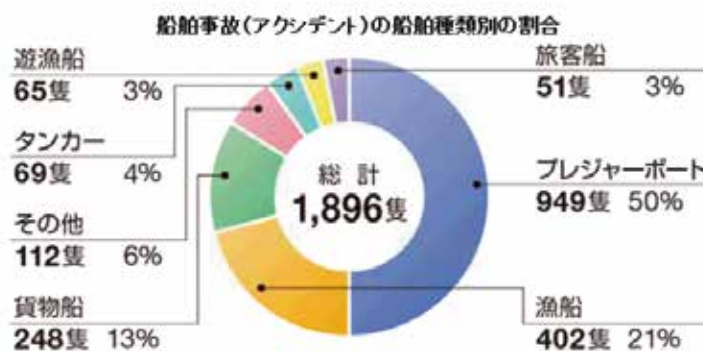
船舶事故（アクシデント）の特徴として、プレジャーボートによる事故が949隻と最も多く、全体の約5割を占めています。マリンレジャーの普及により、約10年前からプレジャーボートによる事故は毎年最も多くなっており、引き続き安全対策を推進する必要があります。

### ■責任保険ワイド・船体保険の必要性について

事故に備えたプレジャーボート総合保険は、プレジャーボート責任保険の上乗せとして、①プレジャーボート責任保険ワイド ②船体保険 ③搭乗者傷害保険で構成されています。今回は、プレジャーボート総合保険の補償のうち、①プレジャーボート責任保険ワイド ②船体保険についてご紹介させていただきたいと思います。

#### ① プレジャーボート責任保険ワイド

プレジャーボート責任保険では、船舶以外による救助費用はお支払い出来ません。そのため、曳航・搜索救助にかかる費用については必ずしもプレジャーボートオーナー様が負担した実費全額が対象となるわけではありません。このような場合に備え、ぜひプレジャーボート責任保険と併せてプレジャーボート責任保険ワイドへのご加入もご検討下さい。



海上保安庁  
海上保安レポート 2019

#### ② 船体保険

衝突事故や台風等によりご契約のプレジャーボートに損害が生じてしまった場合、ご契約のプレジャーボート自体の修理費用は船体保険のご加入がなければ、補償することができません。近年は、台風による被害も多くございますので、皆様の大切なプレジャーボートの備えについて、この機会にご検討頂けますと幸いです。

20年間という長きに亘り会員の皆様にご愛顧いただいておりますプレジャーボート総合保険ですが、今後も皆様のご要望に応じよりよい保険制度をご提供できるよう努めてまいります。今後とも変わらぬご愛顧を賜いますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



# クローズアップ

(株)船社「Boat CLUB」2020年12月号より

相手を救い自身を守る  
小型ボートオーナーの心強い味方

## プレジャーボート 責任保険



illustrations by Ryoji Uchiyama

もしものときに相手への補償を行う  
PB 責任保険は、結果的にボーターと  
漁業者双方を守る

日本漁船保険組合が展開する「プレジャーボート責任保険(以下、PB 責任保険)」は運用開始から 20 年。全国の漁船が加入する「漁船保険」の枠組みを活用したこの 5 トン未満のボート、ヨット向け賠償責任保険は、手軽さとユニークな補償内容、高い信頼性が多くのボーターから支持されている。ただクルマと違いボートの保険は任意。未加入のフネもまだまだ少なくないようだ。万が一、事故を起こしてしまった場合、ボーターはどんな責任を問われ、保険はどこまでカバーしてくれるのか? 海事トラブルに詳しい専門家に、あらためてボートの保険の重要性を伺った。

### 相手への賠償に特化した 画期的な船舶保険

ボートの保険を語る前に、保険にはどんなものがあり、なぜ入る必要があるのか、という基本を確認するため、おなじみの自動車保険を例におさらいをしたい。自動車の場合は国が強制保険制度を敷いていて、すべての自動車は、自賠責保険(自動車損害賠償責任保険)に加入することが義務づけられる。自

弁護士 戸田満弘さん  
戸田総合法律事務所所長。45 年にわたり国内外の海で起こる船舶トラブルの解決に尽力してきた海事案件のスペシャリスト。自身も神奈川県三浦海岸でディンギーを楽しむセーラーで、PB 責任保険加入者で構成される団体、全国プレジャーボート安全会の会長を務める





賠償保険は被害者救済を目的に対人事故の損害を補償するもの。ただ、人身事故の賠償金は高額化傾向にあり、自賠償の限度額(死亡で 3,000 万円)では間に合わないと、今日では別途任意保険に加入するのが常識とされている。任意保険は自賠償では足りない部分を上乗せで補償するほか、対物や自身の損害の補償を行うものが一般的だ。

翻って本題のボートの保険である。プレジャーボートの保険加入状況について明確なデータがあるわけではないが、加入が条件になっているマリナーなどに所属する一部を除き、無保険の艇が多いのではないかといわれている。ボートの保険加入は義務ではない。では、ボートでは事故に遭わないかということ、もちろんそんなことはない。統計によれば年に 2,000 件前後の船舶海難が発生していて、そのうち半数近くがプレジャーボートによるものなのだ。

誰にでも降りかかる可能性があるのはクルマの事故と同じ。そして遭遇すると陸上より深刻な状況になりやすいのが海上のボートの事故だ。にもかかわらず自動車の任意保険ほど普及していないのは、やはりボートの絶対数が少なく保険の認知度も低いことが背景にあるのだろう。

そんな中で、この 20 年間実績を順調に伸ばしている(2019 年度の引き受け隻数が 18,379 隻)のが PB 責任保険。本企画でお話を伺った戸田満弘弁護士によると、同保険は船舶保険の世界では例外的で、かつ画期的な存在だという。

「従来の船舶保険は、財産としてのフネを補償する船体保険が基本で、賠償責任保険はそれに付属するものなんです。5 トン未満のボートのオーナーにしてみれば優先順位が違いますよね。自分のフネが壊れたの

は残念だが、まあ仕方がない。なにより人様にかけた迷惑に対して賠償しなければならない。もしそれができなければ、最悪、破産ということにもなるわけです。PB 責任保険はそこを中心に考えられている」(戸田弁護士)

自船の船体補償も望むなら、一般的な船舶保険を選べばよいわけだが、自動車の任意保険のような感覚では加入しづらい現実がある。船体保険の補償には複雑な免責事項が設けられるケースもあれば、保険料も個人が小型プレジャーボートのランニングコストとして組み込むにはバランスが取れない場合もある。

一方で PB 責任保険は、全国の漁船が加入する漁船保険の枠組みを利用し、無保険のプレジャーボートとの間のトラブルで漁船側が泣き寝入りすることのないよう生まれた保険。つまり漁業者救済が目的で、それゆえ相手への賠償に特化しているわけだが、このシンプルさが結果的に一般的なボーターのニーズとも一致しているのだ。



ボートで他船に衝突、あるいは同乗者以外の遊泳者やダイバーなどに接触して死傷させてしまった場合に行う対人賠償は、PB 責任保険の最も重要な要素



## ボーターが負うべき責任の重さとは

責任あるボーターなら保険加入は当然……とはいうものの、現実としてわれわれはボートの上でどれほどの責任を負っているのだろうか？ 実際によくある例をもとに、その重さを推し量ってみたい。

ボートの事故で最も重大なものは人身事故。他船にぶつけて乗員にけがをさせるといったケースのほか、ダイビングやパドルスポーツが人気の昨今では、フネ対ヒトの人命に直結する事故も増えている。「被害者が亡くなった場合、民事で裁判所の認定する慰謝料は高額化していて、今日では 3,000 万円程度となることが多い。これに加えて被害者が得ていたであろう 67 歳までの収入も加わります」(戸田弁護士)

被害者の収入にも大きく左右されるが、平均するとおおむね 5,000 万～6,000 万円。複数の人命が犠牲になったとすると示談には軽く億を超える金額が必要となる。また、幸いにして一命を取り留めたとしても、長期間治療したり後遺障害が残ったりした場合は、高額の治療費・慰謝料が求められ、時として死亡の賠償を超えることもあるという。

### 海事補佐人 生方 章さん

一級海技士（航海）。海事補佐人とは海難審判で弁護士の役割を果たす海事・法律のスペシャリスト。前職は海上保安官で、船上・陸上勤務を経て、海上保安大学の教官を務める。海外へ海上保安の専門家として出向ののち、2015 年に帰国し退官。以後、戸田総合法律事務所 に所属し、海事補佐人として活躍する

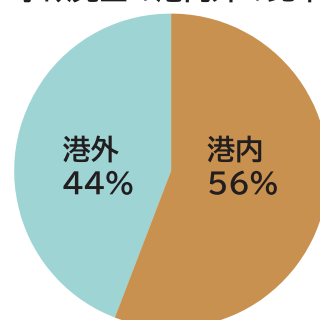


次に物損事故。ボートの場合、漁網や養殖棚への乗り揚げなどは比較的頻繁に起きるトラブルだ。これらは漁具の規模などにより金額は変わるが、大型の定置網などになると数千万円の賠償を求められることもザラだ。そのほかマグロ畜養網や真珠の養殖棚など、損害の出た養殖対象そのものに高い価値がある場合にも高額請求となりやすい。

また釣りに夢中になっていたり、航行中のワッチ不足などにより、港湾設備や各種の浮標にボートをぶつけてしまうというシチュエーションもありがちだ。海上にあるこうした公的設備には、精密機械などが載せられている場合もあり、時には億単位の非常に高額な請求がなされることも。長年、海上保



事故発生の港内外の比率



P B 責任保険の事故分析によると、港内外の比較では、意外にも港内での事故が 56% と多い。係留されている高級なフネにぶつかけたりすると、思わぬ高額請求も



安庁に勤めていた生方 章海事補佐人によると、公的機関ではこうした損害に対し、基本的に新品への交換を要求するのが慣例であるらしい。

さらに他船との衝突では過失割合に応じて賠償を求められることになるが、いくらこちらが悪くないと思っても、自船が岸壁に固定されてでもない限り「過失なし」として 10 対 0 という裁定にはならないという。例えば洋上でアンカリングしていてとっさに動けなかったとしても、相応の責任を問われる。このあたりは陸上の事故よりも厳しいといえるかもしれない。



ボートで他人の財物を破損してしまった場合の対物賠償は PB 責任保険の基本要素の一つ。支払いだけでなく、専門家によるサーベイ(調査)も行うので心強い

## 保険加入で生まれる 安心とゆとり

PB 責任保険は「対人賠償」「対物賠償」について設定された保険金額の範囲内で補償するほか、「人命搜索救助費用」および「船体搜索救助費用」として 1 事故につき 200 万円までの保険金が支払われるのが基本スタイル。前述通り賠償に特化しているためエンジンが 50 馬力以下のボートの場合、補償額が 1,000 万円なら 9,800 円、1 億円でも 13,200 円と非常にリーズナブルな年間保険料設定となっている。

保険料は可能な限り抑えたいという考え方もある。ただ、万が一を考えるとどの程度の保険に入れば安心を得られるのだろうか？

「亡くなった被害者の収入などで賠償金が跳ね上がることもありますが、日本では責任制限制度により船舶所有者の有限責任を認めています。物損

の場合は 3 億円弱、人命の場合はその 3 倍。ですから少し余裕を見て 10 億円の保険をかけておけば、大抵のことはまかなえるのではないのでしょうか」(戸田弁護士)

ちなみに 10 億円の保険金額は PB 責任保険で最大の補償額となるが、年間保険料は同条件(50 馬力以下)で 15,500 円。民事での示談が刑事裁判に大きく影響することも付け加えておきたい。

事故が起きても相手への補償は確保できているという安心感は、乗船の際にゆとりを生み、ボーティングを一層楽しめるようになるだろう。

そして PB 責任保険の強みは、金銭の補償のみにとどまらない。深刻な事故を起こしたボーターには民事賠償だけでなく、海上保安庁や検察庁、海難審判理事所などから取り調べを受けることになる。事



## プレジャーボート倶楽部通信

務的な手続きの煩雑さもさることながら、時には自身が不当な扱いを受けることのないように、適切な調査や弁明を行う必要も出てくる。

「定置網に突っ込んだボートの例で、調べてみると 2 週間前にほかのフネが同じように突っ込んでいて補修していなかった。賠償すべきは最初に事故を起こした方だったわけです。ただこれも事情をよく知る人間が調べないと出てこない事実だったかもしれません」(生方海事補佐人)

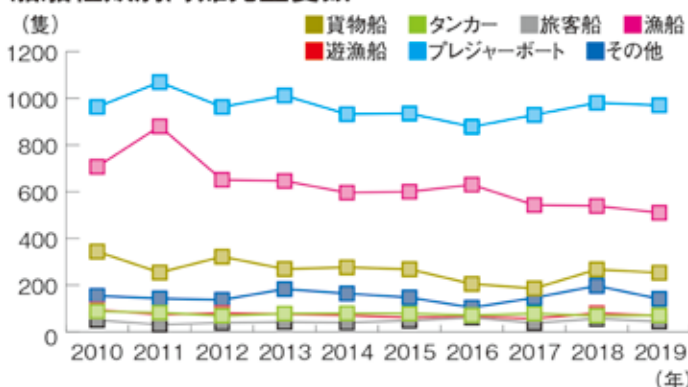
事故を起こしたら単に賠償金を払えばすむというものではなく、トラブルの解決に向けたプロセス管理がきわめて重要なのだという。

PB 責任保険の場合は、数々の海事トラブルの処理に当たってきた、日本漁船保険組合の専門スタッフが対応し、海事のプロといえる弁護士、サーベイヤーなどのサポートを受けられる。PB 責任保険は事故の相手を救う賠償特化型の責任保険ではあるが、同時に事故を起こしたボーターをしっかりと守ることのできる保険なのだ。



ボートの海難別では座礁も比較的多いトラブル。賠償特化型ながら、P B 責任保険は自船の船体捜索救助費用も補償する

### 船舶種類別海難発生隻数



第 14 号会報誌をお届けいたします。

会員の皆様におかれましては、充実したマリナライフをお過ごしのことと存じます。今後も、会員の皆様にとって有益な情報を提供していきたいと考えておりますのでご愛読の程宜しく願いいたします。



全国プレジャーボート安全会

ホームページ <http://www.ghn.or.jp/jpsa/>

お問い合わせ・ご連絡などはメールにてお願いいたします。E-mail: [pb-hoken@ghn.or.jp](mailto:pb-hoken@ghn.or.jp)

\* 情報セキュリティ強化のため、Yahooなどのフリーメールの受信はできません。



For Safety Cruising



プレジャーボート

**PB 責任保険**  
**PB 総合保険**

2021年1月発行

皆さまの「プレジャーボート体験」を3つのカテゴリーで募集いたします。

①ボート・ヨット・釣り自慢 ②ヒヤリ・ハット体験(事故には至らなかったけど、助かった〜...) ③トラブル体験(事故や漁業者とのトラブルなど。) お寄せいただいた中からいくつかの自慢・体験談を次号の会報誌でご紹介させていただく予定です。よろしければ上記メールアドレスまでお寄せください。なお、採用された方には粗品を進呈いたします。